

財務諸表監査 基礎篇 正誤表 (平成 21 年 3 月 31 日 初版)

ページ	箇所	誤	正
i	10 行目	財務諸表の枠組み	財務諸表監査の枠組み
iii	5 行目	増田宏	増田宏一
vii	下 14 行目	読者諸氏が	読者諸氏に
	下 14 行目	効率的に本書を	本書を効率的に
	下 4 行目	会計プロフェッション	会計プロフェッション
1	4 行目	財務諸表だけに	財務諸表監査だけに
3	脚注 1 1 行目	大阪大学学長	大阪大学総長
6	脚注 2 4 行目	「システムの監査」など	「システムの監査」などとして
9	5 行目	事項には	事項は
12	3 行目	「監査の依頼人…」	監査の依頼人…
15	17 行目	PCAOB に賦与	PCAOB に付与
	下 5 行目	選択をしている	選択している
	下 4 行目	上記の①	上記の②
16	19 行目	先生がなされている	先生がなさっている
25	下 4 行目	情報提供者 A	情報利用者 A
		情報利用者 B	情報提供者 B
32	4 行目	ものであるとは理解	ものであると理解
33	20 行目	大きな与えた	大きな影響を与えた
36	7 行目	インフォメーション仮説	インフォメーション仮説
37	下 5 行目	Committee on Basis Audit Concepts, <i>A Statement of Basis Auditing Concepts</i>	Committee on Basic Auditing Concepts, <i>A Statement of Basic Auditing Concepts</i>
38	11 行目	受け継がれている	受け継がれている
	16 行目	伊与田	伊豫田
40	8 行目	法の性格も	法の性格は
42	下 8 行目	メッセージ」において	メッセージ」において
45	18 行目	会計責任報告書	受託責任報告書
	下 10 行目	基本的性質	基本的性格
54	17 行目	アウトプットとしての	アウトプットとしての
55	練習問題 3-1 2	経済意思決定	経済的意思決定
59	下 7 行目	意図的歪める	意図的に歪める
60	下 5 行目	業務担当取締役	業務執行取締役
73	19 行目	ということなのであろうか。	ということになる。
75	脚注 1 1 行目	the assurance	The assurance
	脚注 1 1 行目	the Journal	The Journal
81	7 行目	監査人に	公認会計士に
90	9 行目	体系性と	体系性を
	10 行目	公認会計士による	職業会計士による
95	5・7 行目	成立基盤	生成基盤
104	下部 付記 3 行目	「事業活動区分」に	「事業活動区分」の
	下部 付記 4 行目	いずれかに	いずれかに
	下部 付記 4 行目	補習所入所費・補習料	補習所入所・補習料
107	1 行目	まわることが	まわることが
108	下 6 行目	監査法人組織後	監査法人組織化後
120	2 行目	「正確性に」	「正確性」
121	16 行目	最優先と	最優先
122	図表 7-4	株主が 500 名以上	株主が 1,000 名以上
127	8 行目	株主総数が 500 名以上	株主総数が 1,000 名以上
129	5 行目	財務諸と	財務諸表と
135	下 5 行目	流通市場とは	流通市場は
	下 3 行目	金融取引業者	金融商品取引業者
145	下 2 行目	以下の	下記の
148	6 行目	監査基準に	監査の基準に
158	10 行目	「コンバージェンス」という……だろうか。	削除
161	8・12 行目	現在の『監査基準』	『監査基準』
163	7 行目	第 5 項は	第 5 項
164	14 行目	その意味でわが国の	わが国の
	15 行目	入れやすいものにする	入れやすいものにする

ページ	箇所	誤	正
	下 3 行目	何よりも	何よりも
	下 1 行目	関与すること	関与させること
165	4 行目	表示しているもの、と	表示しているものと
175	下 4 行目	目的した	目的とした
176	下 5 行目	Hieralky	Hierarchy
178	11 行目	1997	1997。
184	下 3 行目	対応をしてきたが	対応してきたが
185	12 行目	公認会計士	公認会計士法
187	16 行目	以上に列挙した	これらの
	16 行目	それ以外の	他の
	18 行目	又は関係認識	又は関係を認識
197	脚注 2	17・18 頁	17-18 頁
203	下 6 行目	被監査会社	公認会計士
204	6 行目	損害賠償責任」になる	損害賠償責任」なる
209	1 行目	戒告業務停止	戒告、業務停止
210	13 行目	わが国	我が国
211	下 7 行目	わが国	我が国
212	下 19 行目	金融商品取引法も	金融商品取引法上も
216	12 行目	できるかどうか	できるかどうか
	17 行目	監査の依頼人である経営者自身	経営者自身
217	14 行目	を言及した	に言及した
219	6 行目	P.150	p.150
	下 4 行目	監査人自身に帰す	監査人自身に
226	17 行目	第 3 章 監証拠資料…	第 3 章 証拠資料…
232	下 2 行目	認識意味 ¹⁾	認識意味 ²⁾
233	脚注 1	脚注 1)	脚注 2)
235	7 行目	配達会社	配送会社
243	12 行目	何よりも	何にも
245	12 行目	財務諸表レベル	財務諸表全体レベル
250	11 行目	決定するとともに	決定するとともに
251	下 16 行目	ということだけである。	というだけである。
258	下 9 行目	収束される。	収束する。
259	下 16 行目	会計事務所	監査事務所
266	下 7 行目	発見に	発見にとって
268	3 行目	ところが特徴である。	ところに特徴がある。
	12 行目	これには	これらは
	練習問題 15-2 ⑤	定式からでは	定式からは
270	2 行目	概念については	概念について
	練習問題 15-6	選択番号 ④	選択番号④削除
		⑤	④
		⑥	⑤
		⑦	⑥
273	下 5 行目	真髄はやはり	真髄はやはり
283	8 行目	全面に出した	前面に出した
284	練習問題 16-1	番号 6	削除
286	1 行目	(信念)，	(信念) ——
293	下 13 行目	会計事務所	監査事務所
304	資料 18-1	株式会社殿	株式会社御中
312	下 4 行目	財務諸表監査に対する	財務諸表監査に関する
315	下 13 行目	(警報型)，一方	(警報型) 一方，
317	練習問題 18-1 ④	無限定適正監査報告書	無限定適正意見監査報告書
318	練習問題 18-3 ①	信頼性の水準	質の水準
320	14 行目	なければならない。	ざるを得ない。
321	5 行目	無限定適正意見が	無限定適正意見を
322	2 行目	立証命題については	立証命題について
329	8 行目	表示している、と認める。	表示しているものと認める。
330	下 6 行目	下記の事項	以下の事項
	下 4 行目	している、と認める。	しているものと認める。
331	2 行目	下記の事項	以下の事項

ページ	箇所	誤	正
	4 行目	している，と認める。	しているものと認める。
	下 13 行目	下記の事項	以下の事項
	下 11 行目	している，と認める。	しているものと認める。
332	15 行目	下記の事項	以下の事項
	17 行目	している，と認める。	しているものと認める。
339	5 行目	以下の事項を除き	下記の事項を除き
	7 行目	基礎にして	基礎として
373	1 行目	採用しているかごとき	採用しているかのごとき

修辞上の修正、誤謬の訂正につきまして、お詫びして訂正いたします。国元書房（2011.3.18）